枕崎市人口ビジョンの改訂と第2期枕崎市地方創生総合戦略を策定しました

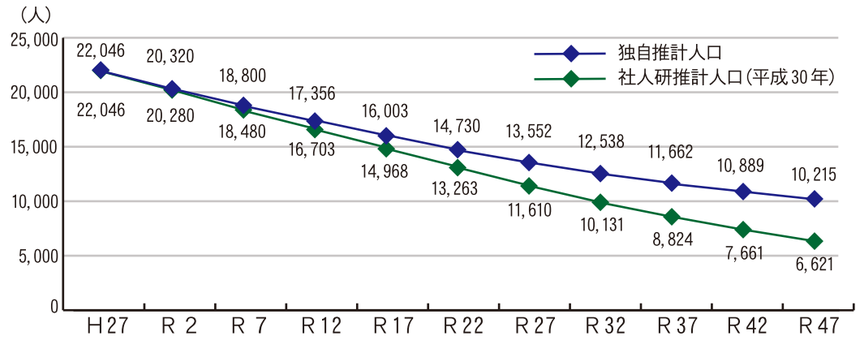
人・世代・地域・産業・情報など、さまざまな要素がつながり、将来に渡って持続可能なまちであるために

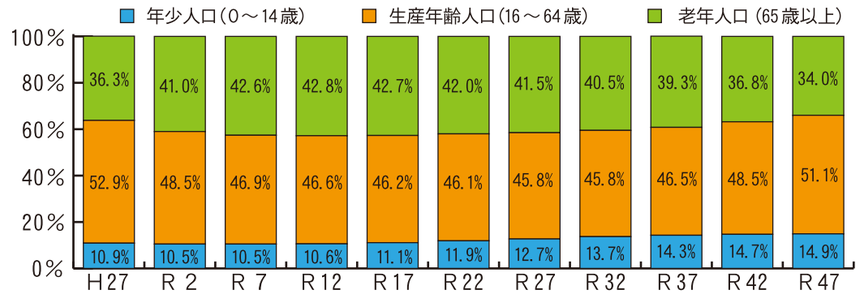
枕崎市人口ビジョン（令和2年改訂版）

人口ビジョンとは、地方公共団体における人口の現状を分析し、人口に関する地域住民の認識を共有し、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を提示するものです。

国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」）によると、今後、人口は減少を続け、平成27年の22046人に対し、令和42年には、70％減の7661人と推計されています。

改訂版の人口ビジョンでは、地域経済を支える各産業の生産力と、そこで働く住民の所得の維持・向上を目指し、さまざまな世代に対する活躍支援を図りつつも、若い世代を中心とした年齢層の人口を一定割合で維持していくことを「将来あるべき姿」と捉え、最新の社人研の推計などを基に独自推計し、次のような本市の人口の将来展望を描きました。





第2期枕崎市地方創生総合戦略（令和2年度から令和6年度）

第2期枕崎市地方創生総合戦略は、令和2年度から令和6年度までの5年間を計画期間とし、枕崎市人口ビジョン（令和2年改訂版）に提示する本市の人口に関する「将来的なあるべき姿」と、第1期枕崎市地方創生総合戦略の効果検証を踏まえ、本市の実情に合わせた4つの政策分野を設定するとともに、地方創生の実現に向けた取り組みをまとめたものです。

本市が将来に渡って持続可能なまちであるために、行政運営の基本的な指針である第6次枕崎市総合振興計画と整合性を保ちつつ、人や経済の地域循環、本市にしかない付加価値を持った魅力の創出、切れ目のない子育て支援などの施策を展開していきます。

政策分野　1　【ひとと産業（仕事）をつなぐ】

地場産業の振興と、地域経済の循環を図ることで、安定した雇用を創出するとともに、多様な人材の活躍を推進する

地域電力推進事業

地域新電力会社を設立し、エネルギーの地産地消、経済の地域内循環を図るとともに、事業収益を活用して地域課題の解決につなげます。

産業後継者育成奨励金

本市の基幹産業である漁業及び水産加工業の節加工業に従事する方に対する支援を行います。

政策分野　2　【市外のひと・まちをつなぐ】

豊かな地域資源を使って、地域外とのつながりと、新しい人の流れをつくる

スポーツ交流拠点整備事業

野球などスポーツ振興のための環境を整備することで、地域の魅力を高め、関係交流人口の創出と地域経済の活性化を図ります。

アートミュージアム拠点（南溟館）推進事業

南溟館を拠点として、芸術・文化のまちまくらざきとして魅力的な取り組みを実施し、情報発信することで、関係人口の創出と地域経済の活性化を図ります。

政策分野　3　【若者とまちをつなぐ】

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

結婚新生活支援事業

若い世代が子育てしやすく、住み続けたいと感じる環境を整えることを目指し、若い世代の結婚に伴う新生活支援を行います。

不妊治療費助成事業

子どもを望む夫婦に対する一助として、不妊治療に要する経済的負担を軽くすることで治療を少しでも受けやすくすることを目的に、不妊治療費助成を実施します。

政策分野　4　【地域と地域をつなぐ】

安心な暮らしを守るとともに、時代にあった、魅力的な地域をつくる

高血圧対策事業

高齢者から若年層まで、あらゆる世代の市民が血圧を測定できる環境を整備し、高血圧を始めとする生活習慣病に対する予防と適正な治療を図ることで市民の健康寿命の延伸、介護給付費や医療費の抑制などにつなげます。

ごみ減量化等の推進

ごみの減量化やエコサポーターによる啓発活動等を行うことで、３Ｒを実践し、「枕エコ」を推進します。
※３Ｒ＝Reduce（リデュース）、Reuse（リユース）、Recycle（リサイクル）

これら4つの政策分野について、ＳＤＧｓの視点を取り入れた事業を展開し、毎年度その効果検証を行い、事業の改善を図りつつ実施します。

ＳＤＧｓとは・・・

持続可能な開発目標であり、貧困や飢餓、気候変動や平和など広範囲にわたって17の目標が設定されています。多様な目標の追求は、現在の地域における諸問題の解決に資するものであり、地方創生を推進するものです。本戦略でも、ＳＤＧｓの視点を取り入れ、各施策を実施していきます。

■問合せ　企画調整課政策推進係　TEL72-1111（内線460）